



第 2 8 号
発行
小松同窓会本部

〒923-8646
小松市丸内町二ノ丸15
石川県立小松高等学校内
同窓会報編集委員会
TEL・FAX (0761)21-6330
印刷 マルト印刷工業株式会社

向暑の候、同窓会会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校の教育活動に對しまして、物心両面にわたり暖かいご支援を賜り、深く感謝申し上げます。新任校長故、簡単に自己紹介します。昭和二十二年美川町生まれ、小松高校(18回生)、金沢大学理学部を卒業し、数学教師として、門前高校、大聖寺高校、小松高校、板津中教頭、小松高校教頭、小松市立高校長を経て、石田前校長の後任としてこの4月に小松高校長を務めることになりました。

母校の校長となつて

また、男子バレー部が春高バレー出場し、県高校総体では陸上部男子が三十年ぶりに総合優勝という快挙を成し遂げ、ボート部も男子が全種目優勝するなど伝統の文武両道の健在を広く県下に示すことができました。そして、この六月に三泊四日の日程で韓国の修学旅行を実施しました。本校にとつて初めての海外の修学旅行であり、韓国の文化・歴史に触れるだけでなく、全州市の全北大学教師範大学附設高校との交流も



実施により、生徒たちの学習意欲や進路意識が高まり、着実に成果が現れています。

校長 栖川 成人

育改革の中で、公立高校をとりまく環境が一段と厳しくなってきました。特に、進学面においては、中高一貫校や私立高校が躍進し、公立の進学校は苦戦を強いられる状況にあります。また、学区制撤廃は、多様な個性や能力を持った中学生が自分に合った高校を自由に選択できるようにしたものであるが、各高校は中学生・保護者・地域から信頼される魅力ある学校づくりや優秀な生徒獲得に向けての取り組みの充実が強く求めら

行いました。グローバル化が進展する中で、国際理解・国際交流への積極的な姿勢の育成や広い視点で自分の国や自分のふるさとの文化・歴史を見つめ直すよい機会となり、有意義な修学旅行であったと思っております。平成十五年度より学校完全週五日制、新教育課程が実施され、平成十六年度には中高一貫の県立錦丘中学校が開校し、平成十七年の高校入試から学区制が撤廃されるなど様々な教

れています。変化の激しい社会において、不易と流行をしっかりと見極めた対応が大切であると考えています。本校においては、これらの教育改革に対応するため、
①文武両道、自主自律の精神は本校の大事な伝統であり、これを重んじる校風の継続・発展を図る。
②入学する生徒達は高い能力や優れた個性を有し、これからの社会の中核・リーダーとなる人材であり、知識技能の習得だけに終わることなく、これからの社会が求める力を見据えてその育成を図る。
③一人ひとりを大切にし、確かな学力・豊かな人間性を育成し、満足のいく進路実現を図る。
④信頼される学校づくりめざし、学校評価・学校公開を積極的に進める。
以上を基本方針に据えて、「いしかわスーパースクール」事業を核として取り組みの充実を図って行きたいと思っております。
最後に、本校の教育活動の充実には教職員の頑張りとともに外部の力の積極的活用が大切であると考えています。同窓会の皆様のご支援ご協力をよろしくお願ひ致します。(高校18回)

二十一世紀の小松高校

教頭 福島 洋

第二期工事が竣工し、平成十六年二月六日に新校舎への移動を行いました。

ちよつどその翌日、男子バレーボール部が金沢商業高校を破り、本校初の春高バレーの出場を決めたのです。

新居へ移つて間もない偉業に、幸先の良いスタートが切れたことで、二重の喜びが校内に満ちあふれていました。

卒業式まで間もない五十六期生も新校舎での生活を二ヶ月ほど経験して巣立つてゆきました。



56期生の新校舎での1ヶ月

一期工事は平成十三年十一月に竣工していますが、新体育館や理科・芸術棟が完成しただけで、これまで教室棟や管理棟は旧校舎

を利用してきました。図書館などの第三期工事がまだ残っています。



新体育館

第二期工事が竣工し、校舎の装いを呈して来たように思えます。



理科・芸術棟

正面玄関はこれまでと同様に、南向きで、正門を入ると、芦城公園を見据えて設置されています。



正面玄関

正面玄関を入られた方は思わず驚かれることでしょう。正面廊下には、創立百周年記念美術展、寄贈作品である「釉裏金彩更紗文壺」(吉田美統氏、高校3回)と「深厚



釉裏金彩更紗文壺

耀彩線文壺」(徳田八十吉氏、高校4回)の二人の人間国宝の方の



深厚耀彩線文壺

作品が飾られ、どこか美術館にも入ったかのような雰囲気を感じさせているからです。

正面突き当たりの階段を2階にあがれば、3年生の教室があります。

これまで、3年生には、「できるだけ静かな環境を提供したい」との配慮から4階を利用させてきましたが、「上級生が真摯に学ぶ姿を見せたい」との思いから、2年生を3階に1年生を4階に置くことにしました。



各階の教室はそれぞれベランダで繋がつて行き来ができること、教室のガラスが透明で廊下から、中の授業の様子がすっきり見通せること、さらには各階の廊下に沿って生徒達が談笑できるようベンチを設けてあること等が大きな特徴です。

勿論、内部は冷暖房完備、情報通信の時代に合わせて校内ランの配線やプロジェクト用のスクリーンの設備がなされていることは、言うまでもありません。教室配置は従来通り、西から東へ向かつて

して1、2年生のクラス担任が在駐しています。
職員室卓上の3階には理数科講義室があり、実験や講義の様子が



2階に配置された職員室

8クラスを設定してあります。また、2階には職員室を置き、主と



廊下に沿ったベンチ

数科生徒を対象に理学研究所研究員の大谷



階段席

見やすいよう生徒席が三方に置かれ、そして階段席になっています。また内部入り口には、旧中学校の講堂(現在は集会室)の正面飾りを移築し、学問の殿堂たらんとするアカデミックな雰囲気を作り出しています。

移転当日の午後、早速この講義室でサイエンス塾を開き、



1、2年生のクラス担任

を掲げる予定です。
現在、旧校舍裏の庭地の埋蔵文化財調査も完了し、まもなく旧教室棟の解体工事が始まるようになっています。高校18回生くらいから、57回生までの約四十年間に渡って

「一片の雪の中にも
千古の秘密がある
一粒の芥子に
秋三界が蔵されるように」

宇吉郎先生(中学)の揮毫
知行氏(高校36回)から「テラヘルツ波」についての講演をいただきました。生徒にとっては難解で専門的な内容でしたが、生徒達は関心を示し、熱心な質問が出ました。ここにはいずれ、西出外佑画伯(故人・洋画家)のご子息西出忠司氏(高9回)よりご寄付いただきました中谷



生徒席が三方に分かれています



旧中学校の講堂の正面飾りを移築

使用されてきた教室棟が姿を消すことになりましたので、取り壊し前に目に焼き付けておきたいと思われる方は、お早めにご来校下さい。
さて、二十一世紀を迎えて小松高校も新しい革袋が整いつつある中、新しい酒(二二年目を迎えている石川スーパースペーススクールとしての科学・言語教育)(内容については本誌第26号で紹介済み)を着々と注ぎつつあります。同窓会員の皆様には日頃、本校の教育活動にご理解をいただき何かにつけてご支援・ご援助をいただきありがとうございます。素晴らしい教育環境の中で優れた成果がご報告できますよう職員一丸となつてがんばりたいと思います。
(高校20回)

同窓生を尋ねて

第1回

高校21回

朝野 勇次郎

(株)東洋コンツェルン 社長



朝野さんは高校21回生ですが、高校時代の思い出というところな事柄でしょうか？

朝野 体育祭、黄団の応援団長として興奮した事、文化祭の前夜祭が雨で中止となり、急遽開催した後夜祭において、天守台にエレキギターを持ち込んでバンド演奏したことが、懐かしく思い出されます。

当時はエレキギターは不良のレツテルが貼られていました。先生方からは、演奏を認める訳にはいかないと猛反対を受けたので、職員室へ再三掛け合いに行きました。

最後に当時、生徒指導の「ぶんちゃん」こと、内藤先生（現在、同窓生鈴木裕文君の義父）が『先生方が見て、了解すればOKだー！』と言われ許可をいただいた時の嬉しさは忘れられません。

三十数年が過ぎ、記憶も曖昧ですが確か曲目はスパイダースの《夕日が泣いている》と、パールシャドーの《小さなスナック》他2曲で、演奏メンバーは勿論私がリーダーボーカルを務め、国分君・藤田

君・西出君と、残念ながら若くして亡くなった八田君の5人だった気が致します。

ファイヤーストームが本当に青春そのものでした・・・。

また、九州への修学旅行では、別府の町から大阪への移動待ち時間を過ごす旅館での出来事で、隣接している民家の板壁が屋根にある煙突の余熱で発火しており、山本君や佐田君と共に、初期消火を行いました。

記憶が些か曖昧ですが、その後、新聞社から問い合わせがあり、美談活動として事の次第が学校側に分かり、校長室で『お前たちは大したもんだ！』と褒められた事がありました。

その関門海峡で、船の上から、加山雄三の「お嫁においでよ」を歌いながらガイドさんに向かって帽子を投げた時、みんなが加わり大合唱になった事など楽しい思い出ばかりが懐かしく蘇ります。

高校の同級の方とは交流されていますか？ 同窓会の出席は？

朝野 7年前からゴルフを覚えまして。出来る限り都合が付けば同窓生とプレーをしています。

又21期生で形成されています年2回開催の21会ゴルフコンペには出来るだけ参加させて頂けるようスケジュール調整を図っています。

同窓生とのゴルフコンペは童心に返りわくわく致します。負けん気が働き、些かむきになるときも



21回生と共に

ありますが、終止和やかな雰囲気です。特にコンペ終了後の成績発表を兼ねた懇親会はとても楽しく過ごします。

ところで現在のお仕事は？

朝野 (株)東洋コンツェルンをはじめとする7社の代表取締役を兼務し、各社の経営責任を担っています。

基幹産業は、石川県内で14店舗、東京都内で2店舗を展開するパチンコ事業です。

また、飲食事業も幅広く展開しており、石川県内では『レストラン カポシヤール』や『本格焼肉 寅亭』、『めし処 とら屋』など9店舗を展開。さらに、東京都港区六本木においては、本格的な和食、加賀料理店『彩食 ろっぽんぎ』を出店しています。

さらに、東京都港区赤坂2丁目に所有する東京本部ビル【赤坂AYビル】内にグループ各社を集結し、総合的なアミューズメント事業の構築と、これをサポートする各種コンテンツ事業に取り組んでいます。

最新技術を駆使したTV制作や各種映像制作、さらには2001年の日本アカデミー賞最優秀賞8部門受賞映画『雨あがる』に代表される映画製作事業にも携わっております。

映画製作事業は、自分の東京での活動の中心です。今から6年前、映画監督、黒澤明さんの遺稿が発見され、映画化の相談が持ち込まれました。

《自分が引張っていくから、製作に踏み切ろう！》この一言から始まったのが寺尾聰主演の『雨あがる』でした。故黒澤監督の愛弟子達が結集して完成した作品となり、イタリヤ、ベネチア映画祭で多くの観衆からスタンディングオベーションで歓迎された事が忘れられません。帰国する



左からベネチア映画祭で小泉監督、黒澤明、宮崎美子、朝野、寺尾聰さんたち

と日本アカデミー賞最優秀賞を総ナメにしました。多くの人に認められ、後世に残る作品を製作する事が出来たと自負しています。



「透光の樹」の一場面

さらに、今年は(株)東洋コンツェルンの創立25周年を記念して地元石川、東京赤坂を舞台とする『透光の樹』(原作

作：高樹のぶ子、第35回谷崎潤一郎賞受賞作)の映画化にも取り組み、今秋、劇場公開の運びとなっています。

主演女優は秋吉久美子さん、音楽は友人であり、世界的に活躍されているトランペッター日野皓正さんに担当してもらい、題字は小松高校の大先輩であります人間国宝 陶芸家 徳田八十吉先生にご無理を申し上げ、お書きいただきました。

劇場公開に先駆け、8月には世界5大映画祭の1つ、カナダ、モントリオール映画祭に出品が決定、また10月には韓国釜山で開催されますアジア映画祭にも出品が内定しています。石川県への観光誘致を大義名分として奔走しています。また、後世に残ると言う意味では、現在、展開しています舞台『友情〜秋桜のバラード』が、挙げられ

れます。

白血病の少女をテーマにした舞台で、もうかれこれ3年に亘って支援しています。今年9月に金沢市での公演が決定しました。この公演には大きなテーマがあります。1つは白血病への理解を深め、一人でも多くの方に骨髄バンクにドナー登録して頂けるよう呼び掛ける事。

そしてもう1つは、青少年の抱える心の問題に舞台の感動を通じて問題提起をする事です。

この公演を是非ご覧いただき、石川から新たな『友情の輪』が広がって行く事を願っています。

そのほか、8月には当社が製作協力した劇場用アニメーション映画『アンネの日記』を夏休み子供フェスティバル(8月14〜20日)と



チャリティーコンペで左から徳田八十吉、朝野、里見浩太郎、日野皓正さんと

して、金沢市香林坊の劇場シネマンドにて上映します。

―仕事を通じてよく社会貢献されておいでのようですが、具体的にどんな事をされておられますか?

朝野 平成10年から、当グループの各店舗や各事業所にチャリティーボックスを常設し、『ふれ愛たすけ愛の輪』チャリティー募金活動として、グループ各社の総力を結集して取り組んでいます。

平成11年	小松市役所福祉課へ小松市交通遺児等福祉基金として寄付
平成12年	小松市立丸内中学校へ視聴覚室設備の寄付 小松市障害者施設「和光学園」へ送迎バス1台を寄贈
平成13年	松任市社会福祉法人「佛子園」へ「スナーズルーム」設置の援助金を寄付
平成14年	小松市第一地区コミュニティーセンターへピアノを寄贈
平成14年	能美郡寺井町役場福祉課へ福祉目的マイクロバス1台を寄贈
平成15年	金沢市役所生涯学習課へ生涯学習マイクロバス1台を寄贈
毎年	『お旅祭り』曳山子供歌舞伎担当2町への広告協賛

また、同じく平成10年から、毎年の参加を得て、チャリティーゴルフコンペを開催し、そこでの浄財と併せて福祉活動に役立つ寄付を行って参りました。

さらに、今年からは、(株)東洋コンツェルンの創立25周年を記念

して、日赤の協力のもと当社パチンコ店を会場とした年4回の献血活動を開始したほか、年初より毎月1回、地元への感謝の気持ちを込めて、パチンコ店近隣の早朝地域清掃活動を実施しています。

また、今、7月には小松空港発着の上海便に対し、社員ならびにお取引先各位のお力添えで毎週の搭乗協力を実施。4週のうち第3週は1機を完全チャーターしており、小松空港への上海便定期路線開設に、少しでもお役に立てればとの思いです。

今後、さらに地元の皆様への感謝の気持ちを形にするべく、具体的に活動して行く所存です。

―まだまだお若いのですが、さらなる夢をお持ちでしたらお聞かせ下さい。

朝野 さらなる事業拡張を目指すと同時に地域における社会貢献を考えています。

自分の場合は、特に知的障害児や身体障害児への貢献に尽くせばと願っています。

―その他、高校同窓会に対しての思いなんかありましたら・・・朝野 毎回、同窓会には参加させていただいています。

諸先輩、友人を含みますと、お名前を上げればきりが無いほど、公私にわたり、お世話になっています。小松高校同窓会における人脈の太さに日々、感謝しております。

※『透光の樹』・『友情〜秋桜のバラード』・『アンネの日記』に関するお問い合わせ先は・・・小松高校21会 世話役 岸野一広君 0761(23)0610または、(株)東洋コンツェルン秘書課 河合新誌 0761(24)3219までお願いします。E-mail: kawai@toyo-konzern.com 会社概要ご案内: http://www.toyo-konzern.com

今年はおリンピックの里帰りの年

柿原 秀嶺

今年第二十八回近代オリンピック大会が発祥地のアテネに里帰りする年であります。

普仏戦争（一八七〇一七一年）の敗北で、鉄血宰相ビスマルクによつて鉄や石炭の産地アルザスロレーヌをプロシヤにとられてがっかりした祖国フランスをスポーツの振興で立ち直せようと考えた貴族クーベルタンの努力で国際オリンピック委員会（IOC）が発足し、その第一回大会がアテネで催されたのが一八九六年ですから百八年ぶりの里帰りであります。

ギリシヤの最高神ゼウスの神に捧げる、肉体美を競う古代オリンピック競技となると前七七六年ですから何と三千年近い歴史であります。

私が家族三人だけでアテネを訪れたのは、一九九七年八月下旬です。その動機はヘレニズム文明の発祥の地をこの目で確かめておきたかったからです。

宿舎グラントホテルが呼んでくれたタクシーで観光の目玉であるアクロポリスの丘、パルテノン神殿等々を巡る三日間の旅でした。

運転手は日本語は駄目、こちらはギリシヤ語は駄目となると会話は英語しかないのですが、彼は

ギリシヤ語が世界の共通語としての役割を失ってから久しいとしかりに歎くのでした。そこで私は「たとえ一時期だけだったにせよ、ギリシヤ語は二千三百年の昔、アレキサンダー大王の東征以来約三百年の間、中近東一帯からイタリア半島にかけての世界語であった。それ故にヘブライ語で書かれた旧約聖書も、二千二百年も昔七十人訳としてギリシヤ語に訳されたし、又ヨーロッパ文化の根幹を成す新約聖書は最初からすべてギリシヤ語で書かれたではないか。それに比べると我日本語は歴史上一時期だつて共通語であつた例がない、だからギリシヤ人は誇りと自信を失つてはならない。」と昔小松中学で習つただけの下手な英語でなぐさめたところ、「こんな日本人の客は初めてだから俺の家へ是非こい」というので、ギリシヤの一庶民の家庭を垣間みる機会を得ました。奥さんはいそいそと我ら三人をその居間に迎えてくれました。

彼は家財道具を一つ一つ指さしながら「テレビはナシヨナル、冷蔵庫は日立、エアコンは東芝、ギリシヤ製は何一つない。」と肩をすばめるのでした。

私は「何故自動車はベンツを使うのか？」とたずねたところ、日本車、例えばトヨタ車は性能はよいが、修理となると部品の手と費用に問題があつて営業車とし

ては不利だからという返事。彼は私に「アテネで最も印象深いことは？」と聞くので、私は「ほとんどすべての主な建物が大理石で造られているが、日本では考えられない程の豪華さだ。」と答えると彼いわく「とんでもない、ギリシヤでは大理石は最も安上りの材料で、エーゲ海の底まですべて大理石で、木材の家など一寸と手が出ないのだ。」とのこと。世界の国々にはそれぞれの事情があるのだなあと思感させられました。

八月三十日の朝、ホテルの食堂は異様なヒソヒソ話でもち切り。フロントで聞くと、あのダイアナ妃が例の恋人とパリで自動車事故で亡くなられた由。しかも二週間前にお忍びでこのホテルに宿泊されたそう。道理で…忘れられない思い出です。

(中学37回)

予告

● 第4回 ●

ホームスクール カミングディ開催

・高校15回生と35回生が中心。
31回生は当番年度です。

とき 平成16年9月26日(日)
ところ 小松高校記念館
天守台

平成15年度小松同窓会運営基金特別会計現在高

繰越額	収入額	支出額	年度末残高額
7,824,577円	72円	1,155,000円	6,669,649円

平成15年度小松同窓会基本財産特別会計積立額

北國銀行定期預金 15,000,000円 + 新生銀行債権貯蓄 10,000,000円 = 25,000,000

平成15年度小松同窓会天守台編集委員会郵便振替受払額

受入額	払出額	差引残額	摘要
1,065,935円	300,540円	765,395円	会報天守台送料、郵便振替料 平成15年度受入 2件

過去5年間の合格状況

Table with 6 columns (Year: 2000-2004) and 30 rows of university names and their respective counts.

Table with 6 columns (Year: 2000-2004) and 20 rows of university names and their respective counts, including a total row.

平成16年3月 卒業生の主な進学先

Table with 2 columns (University Name and Count) listing various universities and their student counts.

のと信じています。 進路指導課 現三年生もちょうど今、総体・総文の真最中で、部活動の総決算の気持ちで最後の大会に臨んでいます...

ただ本校生徒は、粘り強く受験勉強に取り組み、98%を超える生徒がセンター試験を受験しました。結果もクラス数が減少したにもかかわらず、大阪大、神戸大などで合格者の数を伸ばすことができました...

今春の進路状況

平成十六年度入試においては、全国的に国公立大学、私立大学とも志願者数がやや減少しました。その原因としては、センター試験五教科七科目化があげられます...

- 委員長 宮西勉夫 (高校9回)
委員 安田進一郎 (中学45回)
委員 浜野光代 (県女35回)
委員 野田洋子 (高校12回)
委員 杉永信幸 (高校18回)
委員 池田幸夫 (高校32回)
委員 山口和博 (高校34回)
同窓会事務局 村井恭子 (高校34回)
学校職員 酒井隆志
米崎雅代

「天守台」編集委員会 人間国宝 吉田美統展 小松高校同窓生には陶芸家徳田八十吉さん、吉田美統さんのお二人の人間国宝がおられます...

期間：9月1日(水)～10月29日(金)
開館時間：平日午前10時から午後3時
場所：小松高校 記念館
小松高校生にとっては、学校にいなから本物の芸術作品にふれることができる絶好の機会だと思ひます...